

います。また平成十一年には、幸運にも全日本珠算選手権大会に読上委員として参加させていただいた経験もあり、この体験を活かし各種の競技会をより一層活発なものにしていくよう努力していきますので、競技部をはじめ諸先生方の御協力をよろしく願います。

最近の子どもたちは、ゆとり教育の影響からか、他人と競い合って自分を高めようとする気持ちに欠けているように思われます。小学校の運動会で徒競走の順位をつけなかったり、中学校の試験で学年やクラスの順位がなかったりと、他人と優劣をつけることを避けた教育が行われてきました。しかしここ数年、子どもたちの理系離れが進んだことに危機感を感じた文部科学省は小学校、中学校の算数・数学の時間を増やすように指導要領の改訂を行っています。珠算のできる子は、理系に強い！と珠算が見直されています。競技に参加し他人と競い合うことで、より一層の技術向上が見込めることを、多くの子どもたちに気づかせてあげたいと思います。

ひとりでも多くの生徒さんに参加してもらえような厳しくも楽しい競技会を開催できるよう頑張っていますので、競技部の先生方をはじめ、全会員の先生方の御協力をよろしく願います。

## 静珠協会計部長をお受けして

竹内 史寿

このたび、静珠協会計部を担わせていただくことになりました北遠地区の竹内です。全珠連が公益社団法人に、静珠協が一般社団法人に移行する重要な節目の時に、このような大役を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いです。

私はまだ入会してから経験も浅く、執行部の仕事はおろか地区の役員の仕事もろくに判っていない状態のため、皆様にご迷惑をお掛けするのではないかと不安を感じてはおりますが、長年民間企業で培った専門知識や経験を生かして支部・協会の運営に貢献できるよう努力したいと思います。

ところで、なぜ今般の公益法人制度改革が行われたのかを振り返ってみましたと思います。平成十五年に閣議決定された「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」によれば、「公益法人は、公益性の判断基準が不明確であり、営利法人類似の法人や共益的な法人が主務大臣の許可によって多数設立され、税制上の優遇措置や行政の委託、補助金、天下りの受け皿等について様々な批判、指摘を受けるに至っている」ことを背景として、行政部門や民間営利部門で

は満たすことのできない社会のニーズに対応する多様なサービスを提供することができ民間非営利活動の発展を促進することが制度改革の目的とされています。

私見ではありますが、この改革は、民間が担う公益活動の促進を標榜しながらも、旧主務官庁からの切り離しによる天下り対策の色合いも色濃く感じられます。また初回の認定だけでなく、定期的な立入検査も含めた継続的な監督が行われる予定であり、その際には本部だけでなく支部・地区の実態もサンプリング形式で調査を受ける可能性があります。

あります。このような観点から公益社団法人である全珠連の県支部、非営利型の一般社団法人である静珠協への要求事項を会計的側面から捉え、支出の合目的性、支出額の妥当性、資金の流れの透明性の確保にあると考えられます。支出の合目的性・支出額の妥当性とは、支出の内容が事業の目的に沿ったものであるか、その支出が一般に公正妥当と認められる金額の範囲内にあるか、という極めて当たり前のことです。資金の流れの透明性の確保というのは、

難しく聞こえますが、監査手続の側面から見れば、すべての取引が領収書などの原始帳票に裏付けされ、それが遡及可能な形で保存されていることと捉えて良いと思います。単純なことのようですが、どこの企業・法人でもこの部分が最も課題が多いものです。まずは領収書添付の徹底から皆様をお願いして行きたいと考えています。

このように煩雑となる面も多々ありますが、全珠連が珠算界唯一の公益社団法人となったことは、社会的信頼性の向上に大きく寄与すると期待されます。この期待を珠算界即ち会員各位の繁栄という現実結びつけるべく、尽力して参る所存ですので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

